

同盟創立百周年 記念事業



田中 弘志

羅人に教昭ま督

私たちのキリスト教学校
教育同盟は、創立100周年を迎える。その記念事業の一環としての同盟
「百年史」編纂(ひんさん)にいたしま
る編纂委員会が既に2001年から活動を続けて参りま
して、今はよい子大詰め
にキリスト教学校の存在と
その意義を広く社会にアピ
ールする」と、それと同時に抱き
に加盟校がそれぞれに抱き
てゐる課題や困難な状況など
も互いに理解を深め、精神
的絆を一層強めていくこと

りが集つて「基督教教育同盟会」を組織したのがその出発点になっています。13
（大正2）年には女子校20
数校による「女子基督教教
育会」が発足、そして22
（大正11）年11月にこの2

第97回総会 6月12日(金)・13日(土)

酪農学園大学で開催

特別プログラム

酪農学園の実学教育

現場見学とキリスト教的意義の再発見

本同盟第97回（2009年度）総会は6月12日（金）・13日（土）の両日、学校法人酪農園（酪農学園大学）北海道江別市を会場に開催される。主なプログラムは、2008年度事業報告と決算・監査報告、2009年度事業計画案などである。予算案の審議、維持財団報告、百周年記念事業、地区提出議題等を協議する予定である。また、ラム（案）として、①「循環農業・バイオガスシステム」を知るワーク、②「生命倫理と環境問題」を知るワーク、③「動物（家畜）病院」を知るワークを順番に見学する。牧草や飼料作物の栽培のほか、「酪農園」におけるキリスト教教育と「美学教育」（仮題）と題して原田昇氏（酪農園）が事前講演を行い、続いて「美学教育」を体験するプログラムを実施する。内や説明のもと、酪農園の「美学教育」の特色を知り、現代における「美学教育」のキリスト

貢献		理研究会	
会員の報告書を承認し、総会資料に基づいて総会の運営について確認するところになっている。		は、常任理事会・評議會の報告書を承認し、総会資料に基づいて総会の運営について確認するところになっている。	
佐伯邦男氏が2月28日付で理事長を退任、後任に奥田義義氏が3月1日付で就任。	日本書道学校	佐伯邦男氏が2月28日付で理事長を退任、後任に奥田義義氏が3月1日付で就任。	日本書道学校
(訂正)	順心学園	3月31日をもって退会	3月号一面加盟校動静欄中、「茨城キリスト教園」を「茨城キリスト教
		しました。	園」に訂正する。
			<4月
			▶第51回小学校代表者会議
			▶キリスト教学校教員会
			▶関東地区大字部会
			▶キリスト教学校教員会
			▶報告と予定
			▶横浜学院(生きる)
			▶キリスト教Q&A

会場の酪農学園大学

号目次>	
研修会	<2面>
同盟とは?	<3面>
	<〃>
懇談会シンポジウム	<〃>
	<〃>
学校は今	<4面>
	<〃>

感謝申し上げます。式典当
日は、午前中に記念式典、
簡単な立食形式の午餐をば
さんで、午後には同じタッカ
ーホールで講演会（一般公
開）を開催しますが、講演者
（女子学院院長、同盟広報
担当理事、百周年記念事業
検討委員会委員長）

論語

一

よつて沃土として農業
食糧の確立発展を圖るべく
、そのための酪農教育機関として
北海道酪農試験場が昭和二年（一九二七）に創立され
、現在までその名を承り
、農業教育機関としての役割を果す

